

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	手話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年生		学期及び曜時限	後期 月曜2限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員	ろう者講師	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
聴覚障害者のコミュニケーション手段、文化を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験にて評価を行い、60点以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜資料を使用						
《授業外における学習方法》						
授業後は学生同士で手話表現をしあって復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
目で見る授業となります。講師の先生にしっかり注目して受講してください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	あいさつの手話表現ができる。	配布資料	シラバスに目を通し科目の目的を理解する	
		各コマにおける授業予定	講師紹介 手話実技① あいさつの手話表現について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己紹介(名前、指文字)の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	手話実技② 名前の手話表現や指文字について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己紹介(家族、数字)の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	手話実技③ 家族や数字の手話表現について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疑問詞、会話表現の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	手話実技④ 疑問詞の手話表現や学生同士で手話での会話を学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地理、地図案内の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	手話実技⑤ 道案内、各施設や名所、名物などの手話表現について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	時制の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習
		各コマにおける授業予定	手話実技⑥ 過去/現在/未来、午前/午後、今日/明日/昨日など時系列の手話表現を学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療現場で使える手話の手話表現ができる。	配布資料	前回の復習
		各コマにおける授業予定	手話実技⑦ 身体や体調を表す手話表現を学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	救急、災害時の現場で使える手話表現ができる。	配布資料	前回の復習
		各コマにおける授業予定	手話実技⑧ 聴覚障害者が災害時に困ることを知り、必要な支援について学ぶ。救急、災害時の現場で使える手話表現を学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			